

MORIOKA YMCA NEWS

盛岡YMCAの使命

私たち、盛岡YMCAは、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、子ども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. こどもたちの個性を大切にし、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。

2012年7月号 夏が来た！キャンプシーズン到来！！



発行人：濱塚有史 編集人：家村知佳 発行所：特定非営利活動法人 盛岡YMCA 岩手県盛岡市本町通3-1-1
TEL 019 (623) 1575 e-mail: morioka@ymcajapan.org URL: <http://www.ymcajapan.org/morioka/>

「背中」

中村光晴 (リーダーOB おかわり)

「子どもも、リーダーも、背中を見て育つ」というような話は、学生としてリーダーでいた頃、よく聞いた話でした。低学年は高学年の背中を見る、高学年は中学生の背中を見る、中学生はリーダーの背中を見る、リーダーはスタッフの背中を見る…また、他の人の背中を見て何かを学ぶということは、友達同士でもありえるし、時には自分より年下の人の背中を見て何かに気づくこともあると思います。

当たり前ですが、背中に言葉は要りません。ただその「背中」だけで十分です。サッカーでの活動中、どうやったらうまくシュートを打てるか、知っている言葉を並べたてるよりも、中学生のシュート一本見せてもらうだけで、小学生たちの目が変わり、そこからの練習が変わっていったことを覚えています。

その「背中」に憧れて、近づきたいと願うことが毎日の原動力にもなれば、「背中」との距離を実感して落ち込んでしまうこともあります。それでもやっぱり近づきたいからまた向かっていく、そんな日々の繰り返しが生徒としての4年間だったのかな

と、最近振り返っています。そして同じように日々を繰り返している子どもたち、リーダーも少なくないのではないのでしょうか？私が学生であった4年間という時間の中で、たくさんの「背中」に出会い、それぞれに近づきたいと思いながら過ごしてきた結果、当初自分が思い描いていた背中とは全然違う背中になっているような気もします。それがいいか悪いかはどうとも言えませんが、たくさんの「背中」に出会えたこと、それが自分の現在の財産になっていることは確かです。

夏休み、盛岡Yでもたくさんのイベントがあって、そこにはたくさんの人が集まって、たくさんの「背中」があると思います。素敵な背中が集まる盛岡Yに、来る人は楽しみに、いる人は自信を持って、この夏もたくさんの「背中」に出会える夏であればいいなと願っているおかわりでした。

サマーキャンプ第1段☆わんぱくキャンプ！！

今年度のわんぱくキャンプは年中さんから小学3年生までのメンバー21名、リーダー7名、スタッフ1名の29名で行いました。仲間とともに多くの体験をすること、チャレンジをすることを目標に2日間を過ごしました。集まった当初は周りも知らない人だらけという状況の子が多い事もあり、緊張している子もいましたが、バスに乗りグループで買い物をする頃には、笑顔で買い物を楽しむ姿が見られました。

また、夕飯作り、自分たちのテントの準備、片付けなど、2日間生活する中で自分たちの事は自分でするチャレンジが多く見られ一緒に過ごしていても頼もしい限りでした。

そんな子ども達のチャレンジを見てくれていたのか、2日間とも雨という天候の中、いざ遊ぶぞ！という時には何故か雨が弱くなり、天候で制限されることなく思い切り遊び事ができました。

この2日間を通して、まずやってみることの大切さ、面白さ、生活をともに作りってきた仲間と思い切り遊ぶ楽しさが少しでも伝わってくれていたら嬉しく思います。2日間本当に楽しく充実したキャンプでした。

(文責：わんぱくキャンプディレクター 小川嘉文)



↑ つどいの森へ向かう途中、スーパーにて。キャンプで使う食材は自分たちで買い出し！



↑ 1日目のフリータイム。みんな池に入って大きなアメンボを追いかけました！



↑ 夕食のカレーライス作り。はじめての薪割り・火付け・包丁でドキドキの子ども達でした☆



↑ これからお風呂へ出発！！たくさん遊んで働いた汗だくな体もスッキリ☆



2日目昼食タイム。みんなでおいぎりを分け合いました。午後にも思い切り遊ぶためにしっかり栄養補給です！ →



↑ ナイトプログラム終了後、女の子が集まって記念撮影。



2日目午後のフリータイム。水鉄砲やバケツで水かけ放題。 ↓



☆ リーダー紹介 その④ ☆

明けましておめでとうございます！今回は、私チノパンこと盛岡大学（1年間の修行により）1年の佐藤 淳真（さとう あづま）がリーダー紹介をします！！

今回紹介するのはあのジーパンリーダーこと向平 悟（むかいだいら さとる）くんです。彼の特徴は、高身長でスタイル抜群、端正な顔立ち、運動神経抜群など、素晴らしいところをあげたらキリがありません。中でも、洋服の着こなしはかなりのもので、サッカーのグラウンドに、あの万人が愛する「ジーパン」をはいて現れたことがあります。これが彼のリーダー名の由来でもあります。おしゃれですね♪



僕がジーパンを紹介します！！



僕がジーパンです♪

最後に、彼は本当に周りに気を配るのがとても上手です。みんなもジーパンリーダーのいいところをいっぱい見つけてね♪

盛岡YMCAにはまだまだ面白いリーダーがたくさんいます！お楽しみに☆

○宮古アドベンチャークラブ

宮古市を含む三陸沿岸地域は7月に入ってからは、ようやく夏らしい天気何日か続くようになりましたが、梅雨の時期ということもあって、盛岡では暑い日でも宮古では曇り空になると気温があまり上がらないことが多く、朝晩は今でも長袖が必要になることがあります。私は所用で月に数回は盛岡に出かけるのですが、毎回その気温差を肌を感じながら県内を公用車で行き来しています。

地域において屋外でのプログラムを実施する場合は、天気によって会場への入出が左右されるので、会場では前日準備の段階で、備品の確認や資材の発注に気を使うことが多くなります。特に炊き出しの予定日が予め大雨とわかっている場合には、食材の発注数を少な目にしたり、前日に会場にテントを立てたり備品を前日搬入して、当日の運営を出来るだけスムーズにするための対策をしています。

沿岸地域にお住まいの小学生を対象にした心のケアプログラムとして、今年度4月より開始した野外活動アドベンチャークラブについては、7月例会は雨により行き先の変更をしての実施となりました。

当初は行き先を矢巾町水辺の里を予定しておりましたが、岩手県広域および宮古市の当日の天気は雨。午後までの降水確率が高かったため、すぐに行き先を県立博物館に変更して雨プログラムに切り替えたのですが、お昼前に現地についたら、薄日が差すほどに天気が回復していました。皆さんがご存じのように周辺は緑の多い場所ですので、岩手大学のボランティアの皆さんにもご協力いただいて、見学の後には外で鬼ごっこのような遊びもしました。おかげさまで楽しく過ごすことができましたが、改めて判断の難しさを痛感した一日となりました。

また、今の時期は雨天ならば勿論のこと、晴天時および夏の炎天下では、炊き出しお振る舞いなど屋外のプログラムにおけるテントの設営が欠かせません。先月20日に日本宝くじ協会よりテントを2張り寄贈され、宮古ボランティアセンター所有のテントは合計3張りとなりました。



← 県立博物館
社会見学



← オープンハウス
親睦会の様子



↓ オープンハウス開所礼拝の様子

西公園にて
お振舞いの様子



↑ 近内雇用促進住宅
(みなし仮設) お振舞い



○東北六魂祭・宮古あきんど復興市

7月8日(日)の宮古教会の主日礼拝の後に行われた、ボランティアハウスの開所式は最高気温が30度近くまで上がり炎天下での実施となり、テントが早くも大活躍しました。宮古教会の教会員、地域近隣にお住まいの方々、YMCA関係者を合わせて約50名が出席され、第1部では森分和基牧師の説教のもとで開所礼拝が行われ、第2部では新ボランティアハウスのお披露目と親睦会を行いました。今回のボランティアハウス建設にあたってご協力いただいた皆様からスピーチをいただきました。新センター設立の目的、これからも地域とともに歩いていくことを再確認する機会となりました。

翌週の7月14日(土)には西公園仮設住宅・和見仮設住宅での富士宮焼きそばのお振る舞いでは、朝の準備のところ一時どしゃぶりの雨となってしまう、こちらでもテントが大活躍しました。その後天気は回復し、お昼ごろになると少しずつ地域の方が集まってきました。中には手話を使ってコミュニケーションする人たちや、お互いの連絡先を交換する人たちが出て、焼きそばのお振る舞いを通じて心を通わせる機会となりました。

来月はいよいよ田沢湖畔で行われる、フレンドシップサマーキャンプが行われます。

この夏キャンプに出かける子どもたちに、いくつもの楽しい思い出ができますように。

宮古ボランティアセンター長 大谷

●寄付金

角谷晋次、花田瞳、小畑孝子、吉崎陽、今松桂子、下坊和幸、熊谷力實、及川茂夫、及川恵、伊藤克見、伊藤喜代江、川守田浩、水田賢次

●維持会費

角谷晋次、角谷千代子、竹内一真、千葉代子、花田瞳、小畑孝子、吉崎陽、池田二郎、今松桂子、下坊和幸、熊谷力實、及川茂夫、及川恵、大関靖二、濱塚秋二、田村治之、工藤泰、重石桂司、伊藤克見、伊藤喜代江、川守田浩、工藤直子、名古屋恒彦、水田賢次、千葉代子、阿部靖、北田アユ子

●東日本大震災被災地支援募金・献品

茨城YMCA、松尾聡子、山田京子、藤井辰夫、横浜西YMCA、日本キリスト教団つきみの教会、日本キリスト教団浦安教会、日本キリスト教団宮古教会、長谷川牧子、佐々木京子、名古屋恒彦、阿部毛糸店、関スミ子、スワン美容室、佐藤ハナコ、吉田精肉店、大森桂子、坂下信二、日本基督教団池田五月山教会

感謝

2012年7月25日現在

順不同・敬称略

6月アドベンチャー 「テントに泊まろう！」

6月23日(土)～24日(日)、26名の元気モリモリな子どもたちと10名のリーダーは「八幡平市県民の森」へ行ってきました！今回のテーマは「テントに泊まろう！」。テント張り、夕ごはんは火をおこすところからの作業、夜はキャンプファイヤーを囲んで踊り、そして寝袋にくるまってテントで寝る！本格的なキャンプを体験しました。

同じグループの中で意気投合する子どもたちや、学年を越えて兄弟のように関わる子どもたちなど、新しい関係が築かれていました。また、薪割り・火おこし・料理・キャンプファイヤーなど、はじめてのことに目を輝かせて真剣に取り組む子どもたち。キャンプの楽しさにどっぷりハマってくれた様子でした。好奇心旺盛でとても積極的な子どもたちはお友だちに対しても、キャンプの中のいろいろな仕事に対しても、もちろん遊びに対しても強く興味を持ってきているなど感じました♪そこから、たくさん挑戦をして経験を積み、今回のキャンプが思い出として心の中に残ってくれていたらいいなと思っています。キャンプってやっぱり楽しい！！



(盛岡YMCA 家村)

★ ファミリーサッカーフェスティバル ★

7月22日(日)、仁王小学校グラウンドにて盛岡YMCAの三大サッカー大会の一つである、ファミリーサッカーフェスティバルが行われました。昨年、一昨年と天候に恵まれず、今年は2年ぶりに開催することが出来ました！しかも晴天です♪そんな思いの詰まった今大会、YMCAで行う各サッカースクールから総勢52名の子どもたちが集まり、ギラギラ照りつける日差しに負けられないほど熱い戦いを見せてくれました。勝負にこだわる子、純粋にサッカーを楽しむ子などサッカーに対する思いはそれぞれですが、みんなサッカーが大好きなことは共通です。この大会は、普段各スクールでやっていることを発揮できる絶好のチャンス☆「自分はこんなに上手になってんだ」、「他のスクールにはこんな子がいるんだ」などいろいろなことを感じてくれたら幸いです。文頭で書いたようにYMCAには三大サッカー大会があります。次の大会で、今回出会った仲間たちや、また新たに出会った子と刺激し合い、サッカーに取り組んでくれることを望んでいます。(家村)



こぼれ種⑱ 「野の花を見てごらん」

日本基督教団内丸教会牧師

(元日本YMCA同盟 主事) 中原真澄

私が盛岡に住んで2年を経ましたが、盛岡を住みよい街にしている一つは、中心部からでも直ぐに自然があることでしょう。例えば中津川の河川敷、今は赤詰め草の王国ですが、季節毎に様々な花が咲き、時の推移を彩り高く告げてくれます。私たちが日常の繰り返しに疲れた時、ホンの少しでも自然に触れると、新しい気持ち心が心身を力づけます。人が社会の中で自分らしく生きていくには、何処かで自然と繋がっていることを意識・体験することが大事なのは、子どもも大人も変わらないようです。

イエス様の言葉の一つに「野原の花がどのように育つかを考えてみなさい」という教えがあります。あくせくと糸を紡ぎ布を織ったりしないが、栄華を誇ったソロモン王の衣装より遥かに美しく花は咲き誇っている。だから、自分の衣食を思い煩うことに心奪われるのではなく、もっと大きな心をもって求めるべき事柄を求めなさい・・と言われました。

YMCAに集う子どもも大人も、大らかな遠くを見遣る眼差しをもって時代をユツタリ大胆に歩む一人ひとりでありたいと願うのです。コセコセと自分の利益ばかりを追い求める小さな器には、明日への大きなデザインを造り出す力は望めません。自然と繋がる呼吸・意識を忘れない人こそが、明日を造り出す創造的で共生の力に満ちた社会をデザインしていけるのです。夏のキャンプは、そうした創造的な力を自然の中で養う大きな機会です。一人でも多くの方々の参加と協力を願ってやみません。

「野原の花がどのように育つかを考えてみなさい。働きもせず紡ぎもしない。しかし言うておく、栄華を極めたソロモンでさえ、この花の一つほどにも着飾ってはいなかった。今日は野にあって明日は炉に投げ込まれる草でさえ、神はこのように装ってくださる。あなた方も何を食べようか何を飲もうかと考え、思い悩むな。あなた方の父はこれらのものが必要であることをご存知である。ただ神の国を求めなさい。そうすればこれらのものは加えて与えられる」。(ルカ福音書12章27節～)

～表紙の写真より～



わんぱくキャンプ2日目のフリータイム。水鉄砲でびしょ濡れになっても気にしない！最後の最後まで遊び切った2日間でした☆(家村)

8月の予定

- ★7月31日(火)～8月3日(金)
サッカーキャンプ (於：いこいの村)
- ★8月5日(日)～7日(火)
宮古フレンドシップキャンプ
(於：秋田県・思い出の潟分校)
- ★8月6日(月)～8日(水)
山のキャンプ (於：外山森林公園)
- ★8月8日(水)～8月10日(金)
湖畔のキャンプ
(於：秋田県・思い出の潟分校)
- ★8月12日(日)～15日(水)
YMCA休館日
- ★8月26日(日)
アドベンチャー8月活動 「小川であそぼう！」
(於：矢巾町立自然公園)